

# 市内中小企業景況調査報告書

令和5年1月～4月（実績）

令和5年5月～8月（見通し）

令和5年4月

江別商工会議所

# 目 次

## I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

## II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

## III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

# Ⅰ 調査要領

## 1. 調査対象

- ・ 市内中小企業 400企業
- 【内訳】
  - ・ 製造業 81企業
  - ・ 卸売業 50企業
  - ・ 小売業 67企業
  - ・ サービス業 102企業
  - ・ 建設業 100企業

## 2. 調査方法

- ・ 郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・ 調査票発送日 令和5年4月10日
- ・ 調査票回答期限 令和5年4月28日

## 3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	81	42	51.9%
卸売業	50	21	42.0%
小売業	67	28	41.8%
サービス業	102	42	41.2%
建設業	100	48	48.0%
合計	400	181	45.3%

※本調査結果報告書中の「DI値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

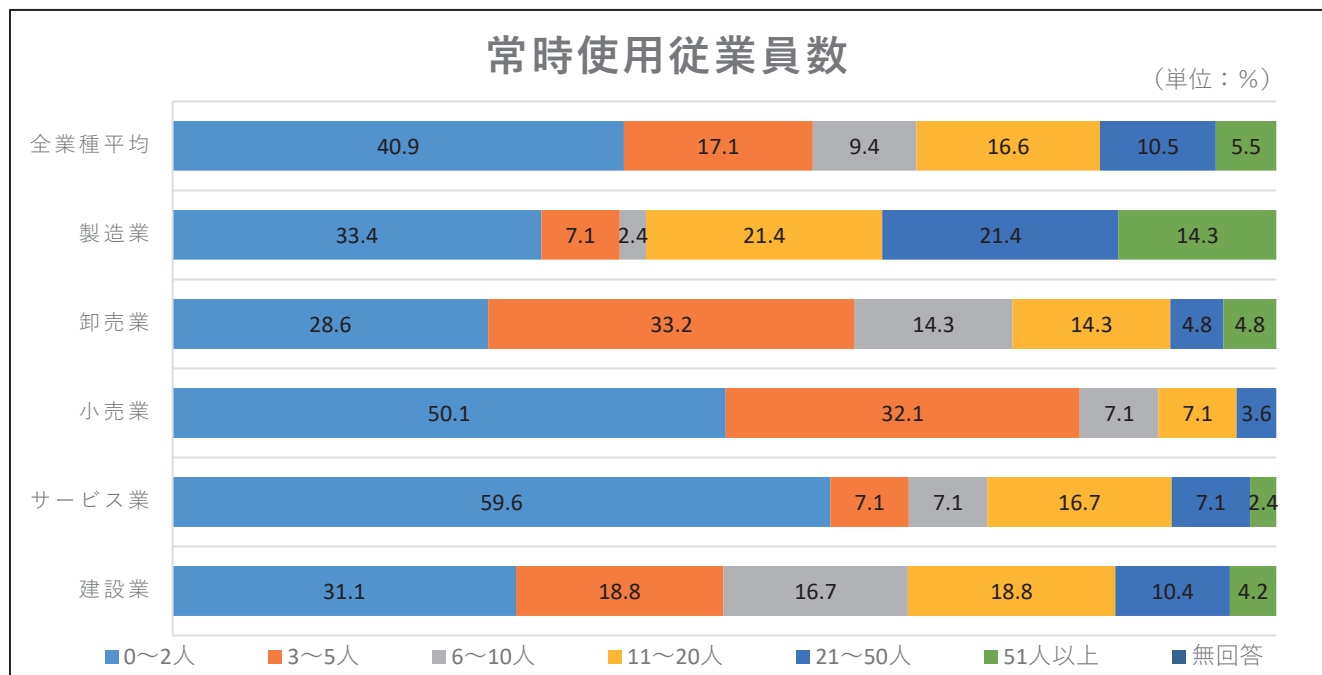
※本調査結果報告書中の「前回」とは、令和4年12月（令和4年9月～12月）を示し、「前年同期」とは、令和4年4月（令和4年1月～4月）を示す。

## II 江別市内の経済動向

### 1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約84%を占めており、そのほとんどが小規模企業者であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



### 2. 業況

内閣府が発表した月例経済報告（令和5年4月発表）によると、個人消費は緩やかに持ち直しているとされ、企業収益は総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっているとなった。設備投資と雇用情勢は持ち直しているとされ、生産はこのところ弱含んでいるとなった。倒産件数は増加がみられるようになっており、企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられるとされた。景気は一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直しており、先行きについてはウィズコロナの下で各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されるが、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和5年4月発表）によると、個人消費は「持ち直している」、生産活動は「弱い動きとなっている」、民間設備投資は「増加している」、公共工事は「減少した」、雇用動向は「緩やかに持ち直しの動きがみられる」、企業倒産は「件数は増加、負債総額は減少した」との判断が継続されたが、住宅建設は「弱まっている」に下方修正された。有効求人倍率（2月）は1.08倍と前年同月差0.06ポイント上昇し、21か月連続で前年を上回った。

道内経済は、持ち直しの動きがみられる。先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和5年1月～4月）では全業種平均の今期業況DI値は△6.1と前回（令和4年12月期）△12.4に比べ6.3ポイントの改善となった。業種別にみると、サービス業で42.7ポイント、卸売業で9.8ポイント、小売業で3.5ポイントの改善となったが、製造業で17.2ポイント、建設業で1.7ポイントの悪化となっている。

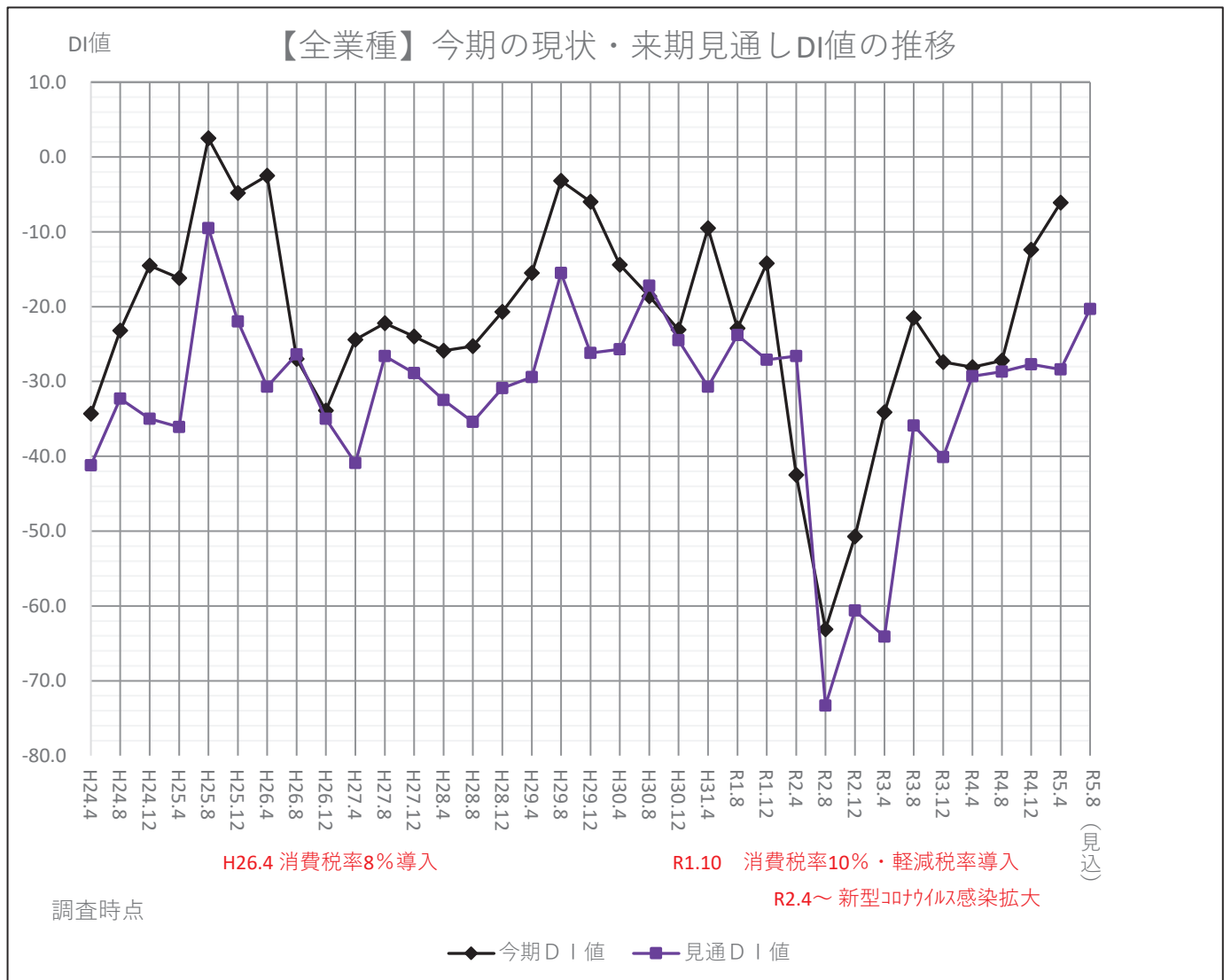
今期業況DI値を前年同期（令和4年4月期）の調査結果と比較すると卸売業で47.5ポイント、小売業で41.5ポイント、サービス業で29.4ポイント、製造業で20.6ポイントの改善となったが、建設業では6.1ポイント悪化している。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると全業種で悪化となっており、建設業で4.1ポイント、サービス業で4.8ポイント、製造業で11.9ポイント、卸売業で33.2ポイント、小売業で35.7ポイント悪化の見通しとなっている。

景況は一部業種を除いて持ち直しの動きが続いているが、先行きについては物価上昇、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で持ち直しの動きに弱さがみられる。

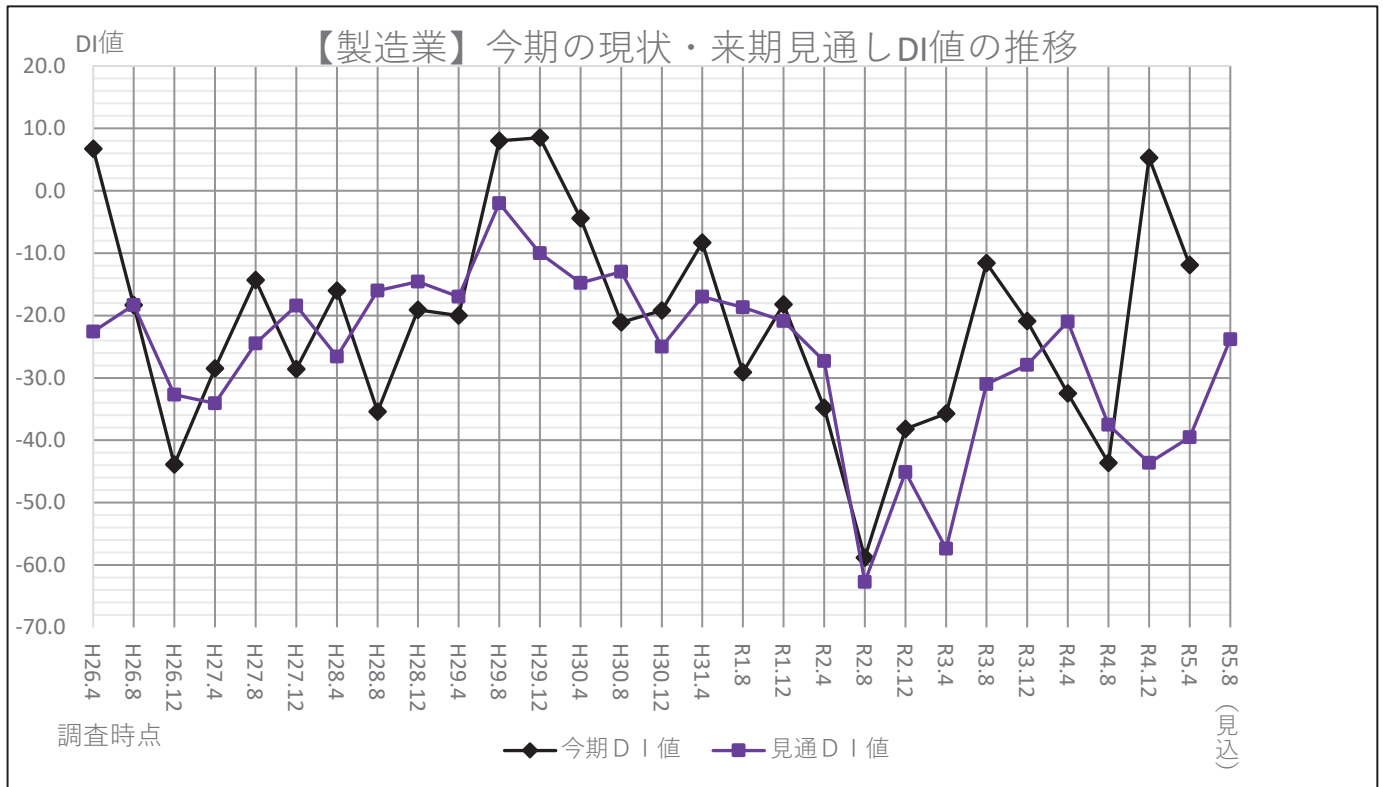
### 全業種平均

- ・今期DI値は△6.1となり、前回より6.3ポイント、前年同期より22.0ポイント改善。
- ・来期DI値は△20.3となり、今期より14.2ポイント悪化。



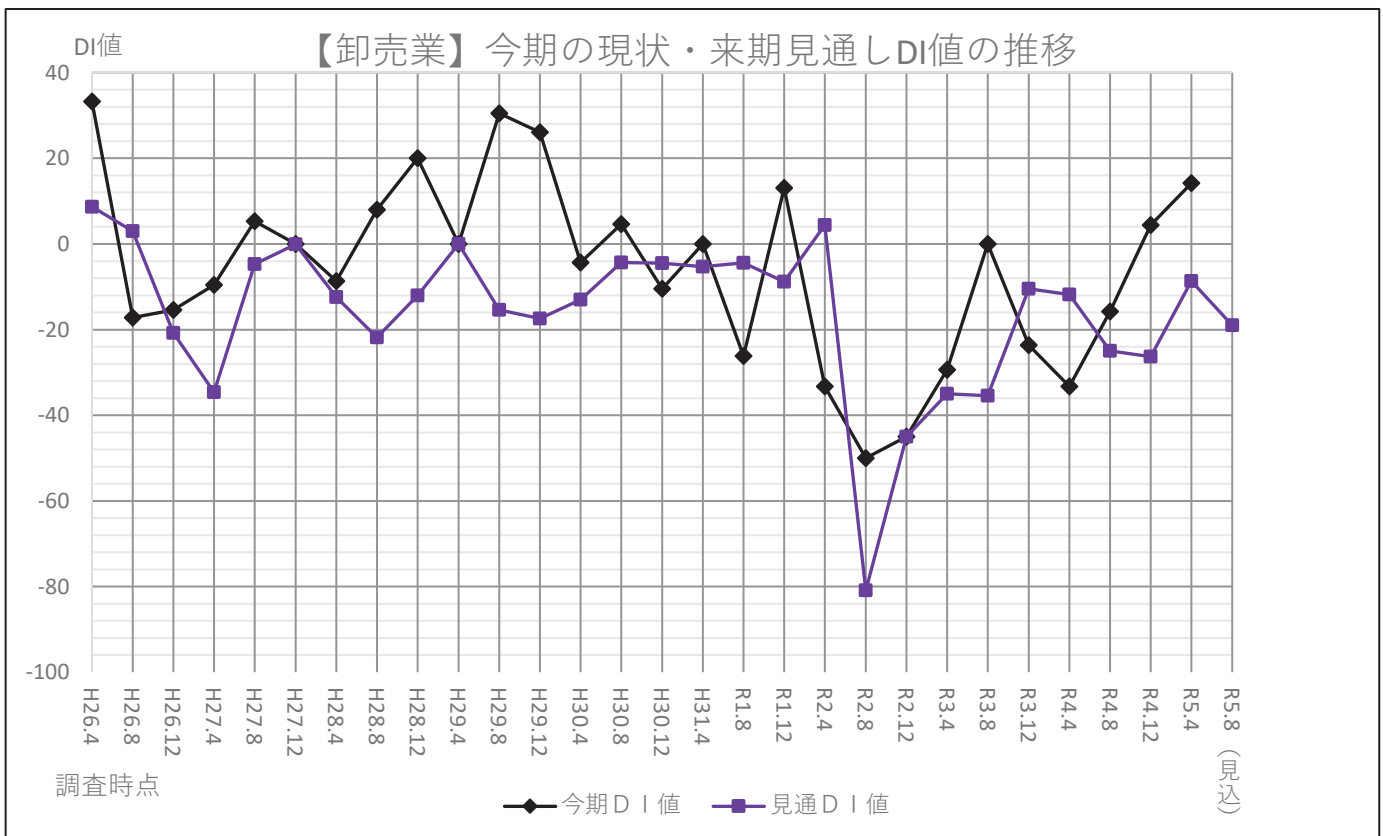
## 製造業

- ・今期DI値は $\Delta 11.9$ となり、前回より17.2ポイント悪化、前年同期より20.6ポイント改善。
- ・来期DI値は $\Delta 23.8$ となり、今期より11.9ポイント悪化。



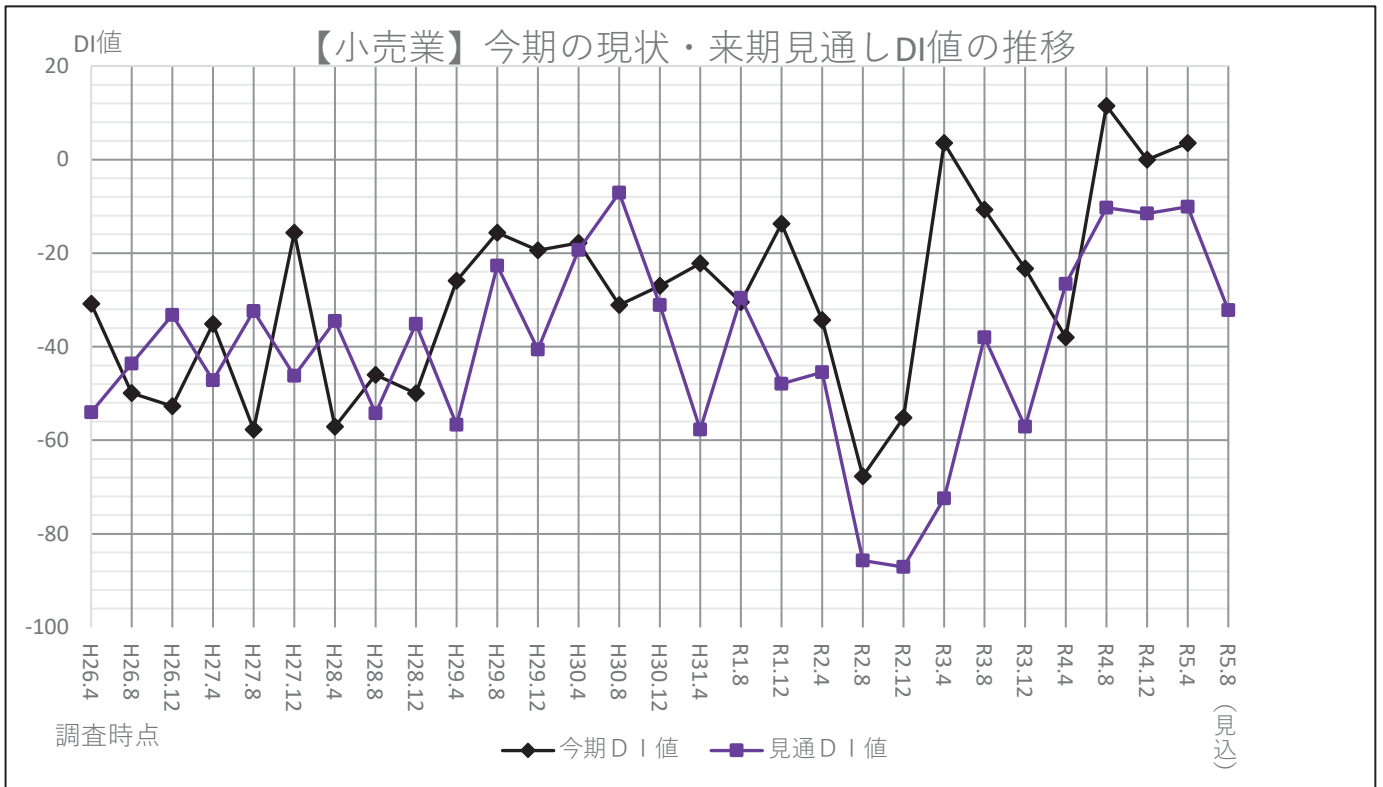
## 卸売業

- ・今期DI値は14.2となり、前回より9.8ポイント、前年同期より47.5ポイント改善。
- ・来期DI値は $\Delta 19.0$ となり、今期より33.2ポイント悪化。



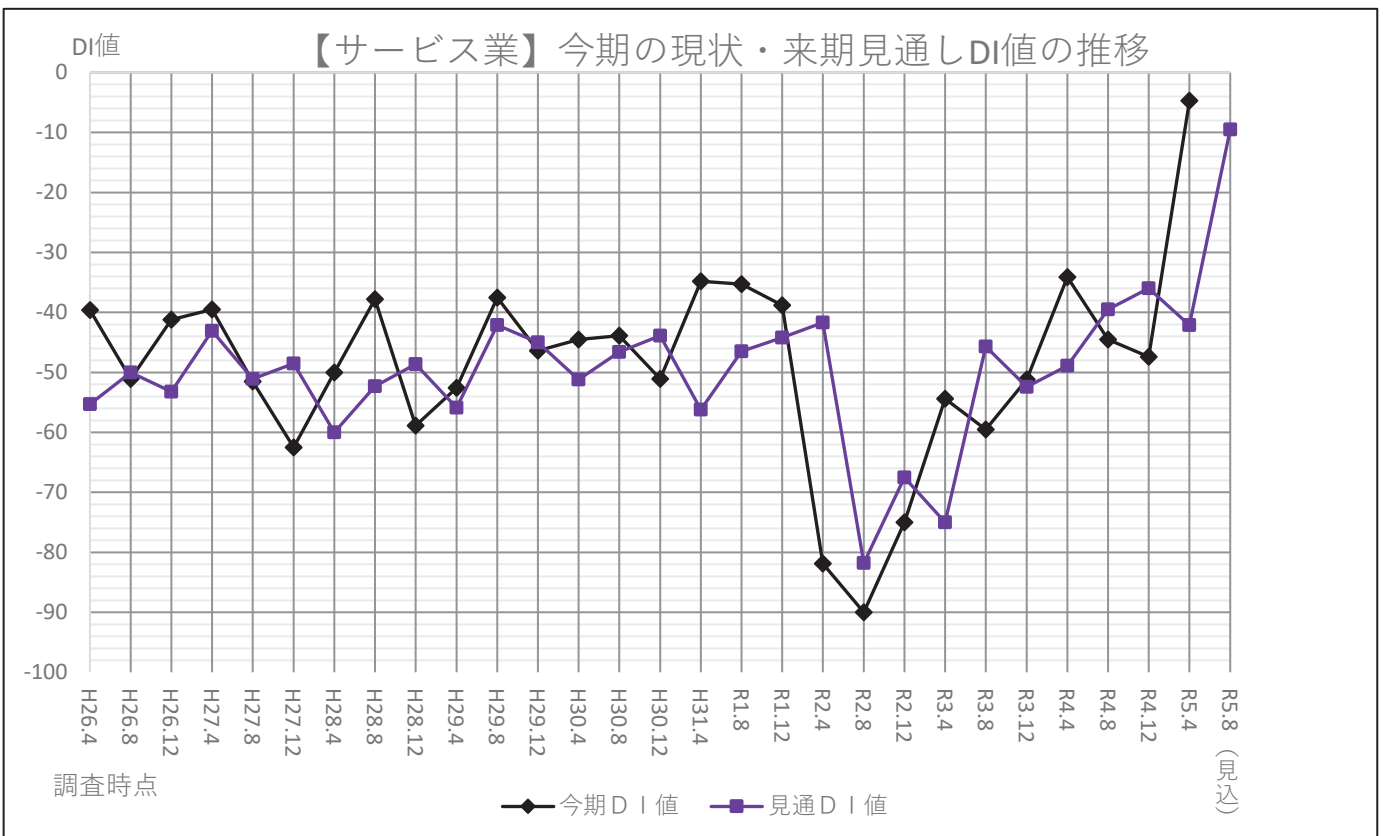
## 小 売 業

- ・今期DI値は3.5となり、前回より3.5ポイント、前年同期より41.5ポイント改善。
- ・来期DI値は△32.2となり、今期より35.7ポイント悪化。



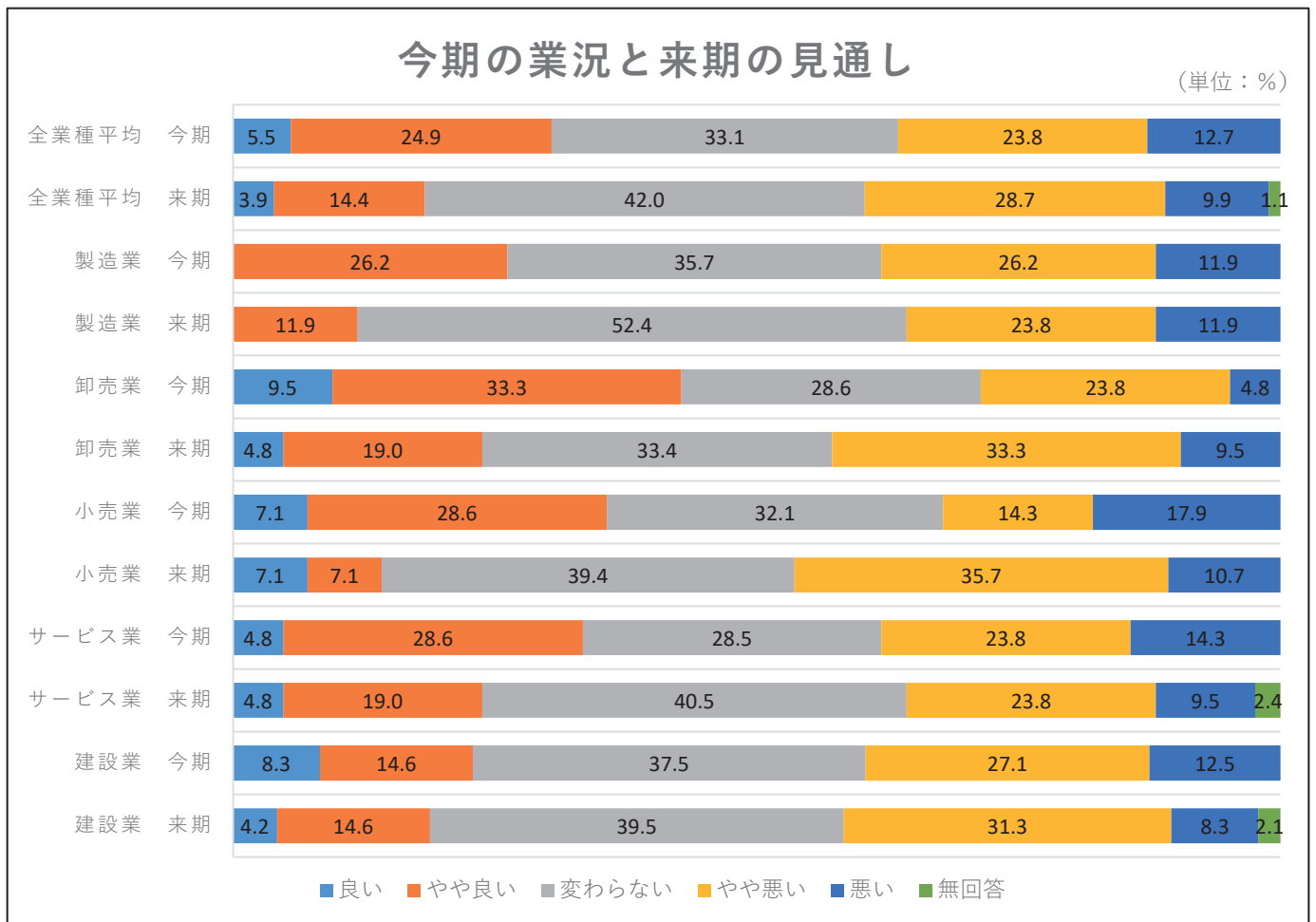
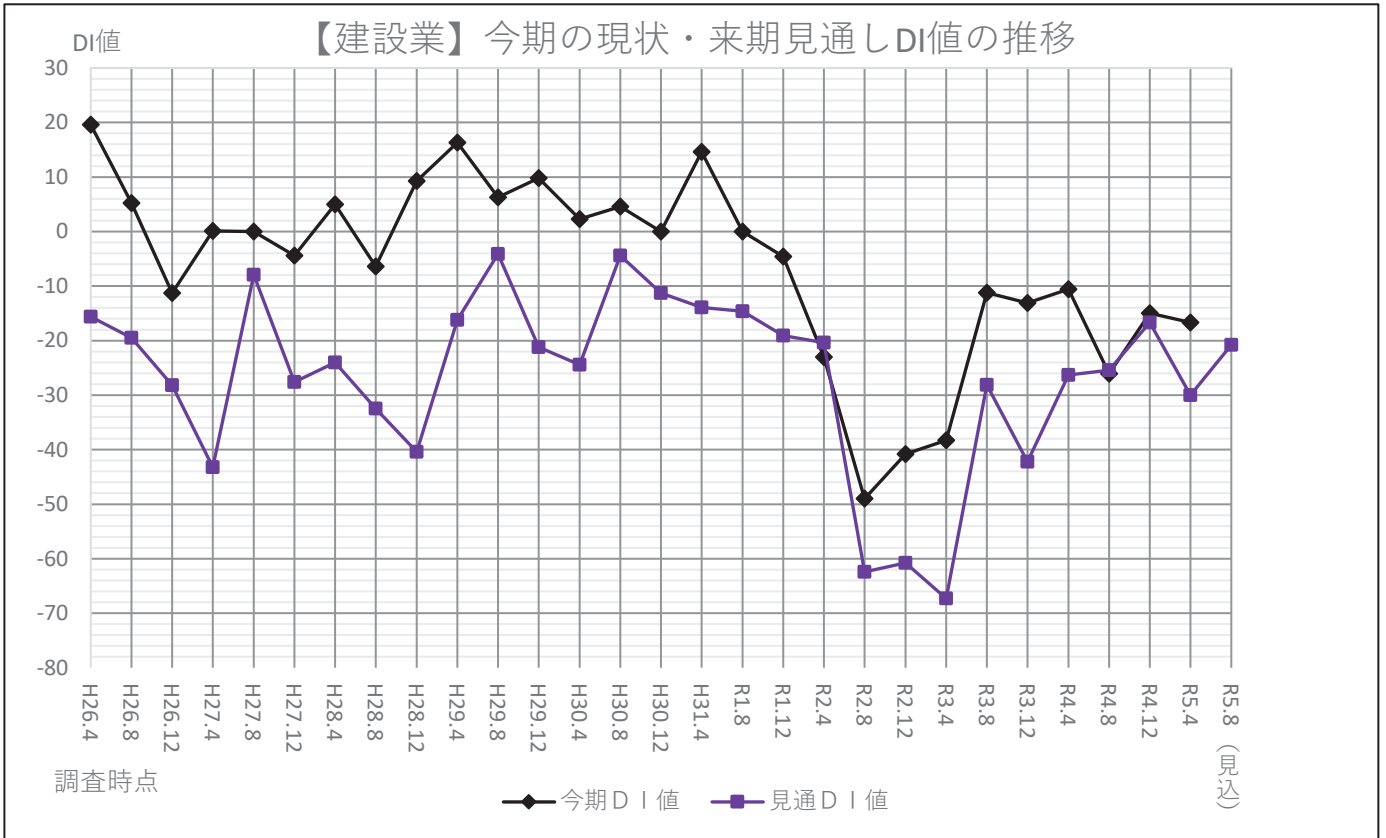
## サービス業

- ・今期DI値は△4.7となり、前回より42.7ポイント、前年同期より29.4ポイント改善。
- ・来期DI値は△9.5となり、今期より4.8ポイント悪化。



## 建設業

- ・今期DI値は△16.7となり、前回より1.7ポイント、前年同期より6.1ポイント悪化。
- ・来期DI値は△20.8となり、今期より4.1ポイント悪化。





### 3. 売上状況

#### 全業種平均

- ・ 今期DI値は△4.4となり、前回より0.3ポイント、前年同期より19.8ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△16.6となり、今期より12.2ポイント悪化。

#### 製造業

- ・ 今期DI値は14.3となり、前回より9.4ポイント悪化、前年同期より36.8ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△4.7となり、今期より19.0ポイント悪化。

#### 卸売業

- ・ 今期DI値は9.4となり、前回より0.7ポイント、前年同期より26.1ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△4.7となり、今期より14.1ポイント悪化。

#### 小売業

- ・ 今期DI値は△3.6となり、前回より13.5ポイント悪化、前年同期より41.2ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△35.8となり、今期より32.2ポイント悪化。

#### サービス業

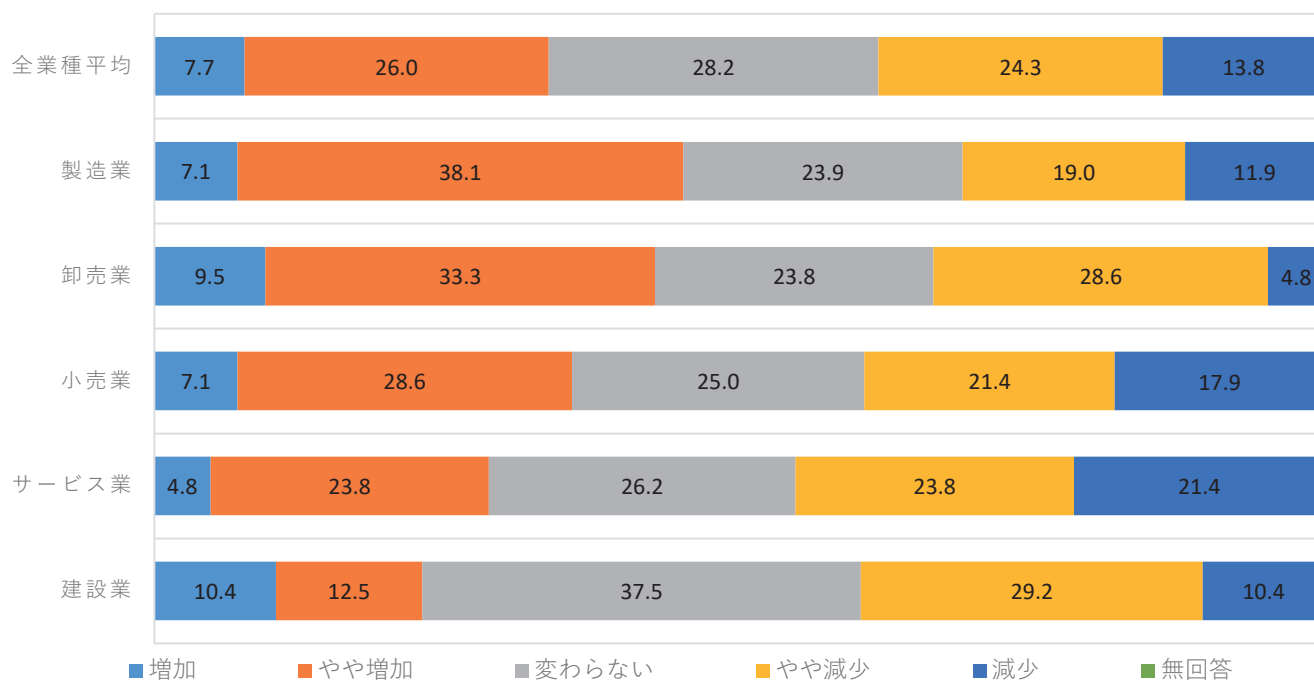
- ・ 今期DI値は△16.6となり、前回より28.1ポイント、前年同期より17.5ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△18.9となり、今期より2.3ポイント悪化。

#### 建設業

- ・ 今期DI値は△16.7となり、前回より4.2ポイント、前年同期より8.1ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△18.7となり、今期より2ポイント悪化。

### 今期の売上状況

(単位：%)



## 4. 利益状況

### 全業種平均

- ・ 今期DI値は△24.9となり、前回より2.9ポイント悪化、前年同期より16.1ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△30.9となり、今期より6.0ポイント悪化。

### 製造業

- ・ 今期DI値は△16.6となり、前回より16.6ポイント悪化、前年同期より25.9ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△31.0となり、今期より14.4ポイント悪化。

### 卸売業

- ・ 今期DI値は△23.8となり、前回より19.5ポイント、前年同期より3.0ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△14.3となり、今期より9.5ポイント改善。

### 小売業

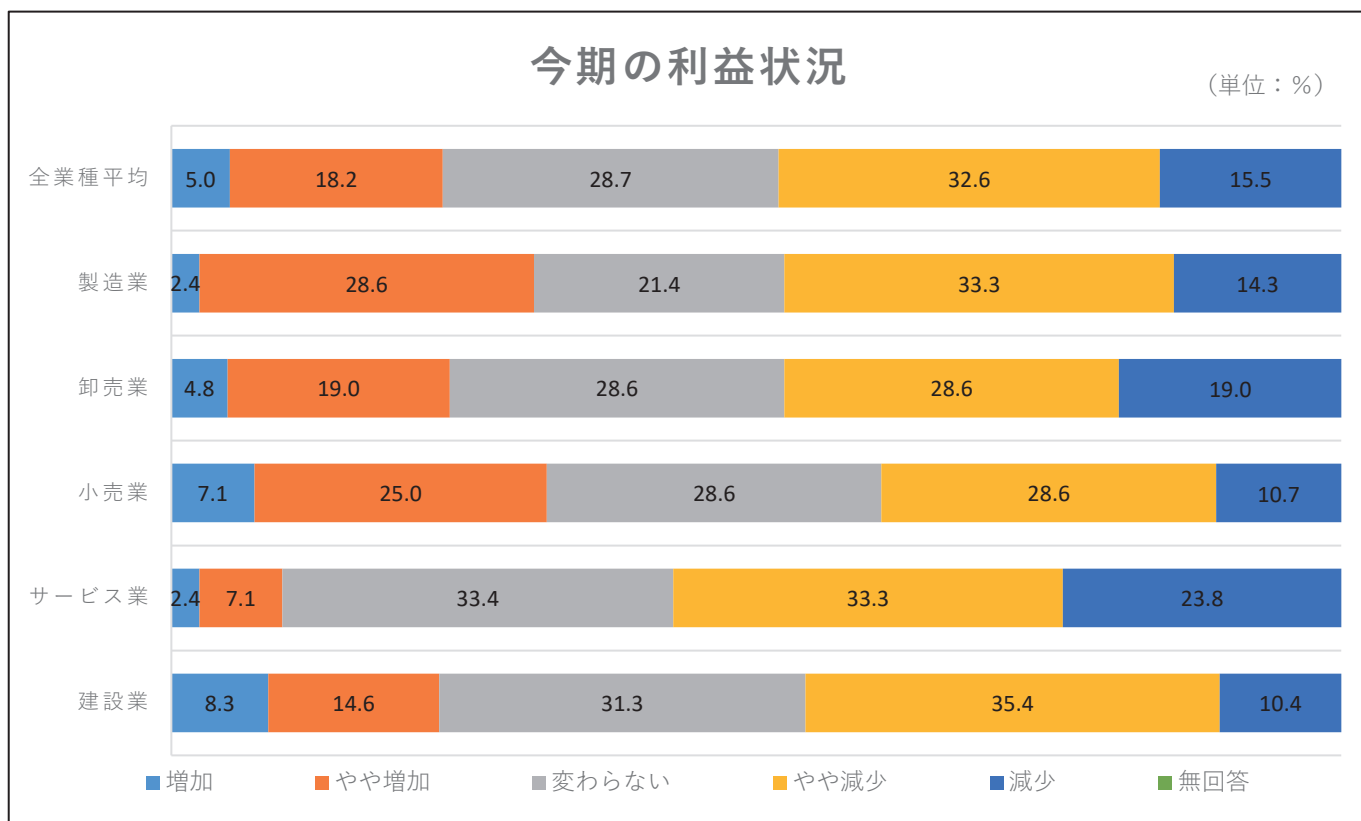
- ・ 今期DI値は△7.2となり、前回より10.6ポイント悪化、前年同期より54.9ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△42.9となり、今期より35.7ポイント悪化。

### サービス業

- ・ 今期DI値は△47.6となり、前回より26.2ポイント改善、前年同期より2.9ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△42.8となり、今期より4.8ポイント改善。

### 建設業

- ・ 今期DI値は△22.9となり、前回より0.4ポイント悪化、前年同期より11.1ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△20.8となり、今期より2.1ポイント改善。



## 5. 資金繰り状況

### 全業種平均

- ・ 今期DI値は△14.9となり、前回より0.7ポイント悪化、前年同期より3.6ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△15.5となり、今期より0.6ポイント悪化。

### 製造業

- ・ 今期DI値は△9.6となり、前回より4.3ポイント悪化、前年同期より12.9ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△14.3となり、今期より4.7ポイント悪化。

### 卸売業

- ・ 今期DI値は△14.3となり、前回より18.6ポイント、前年同期より14.3ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は0.0となり、今期より14.3ポイント改善。

### 小売業

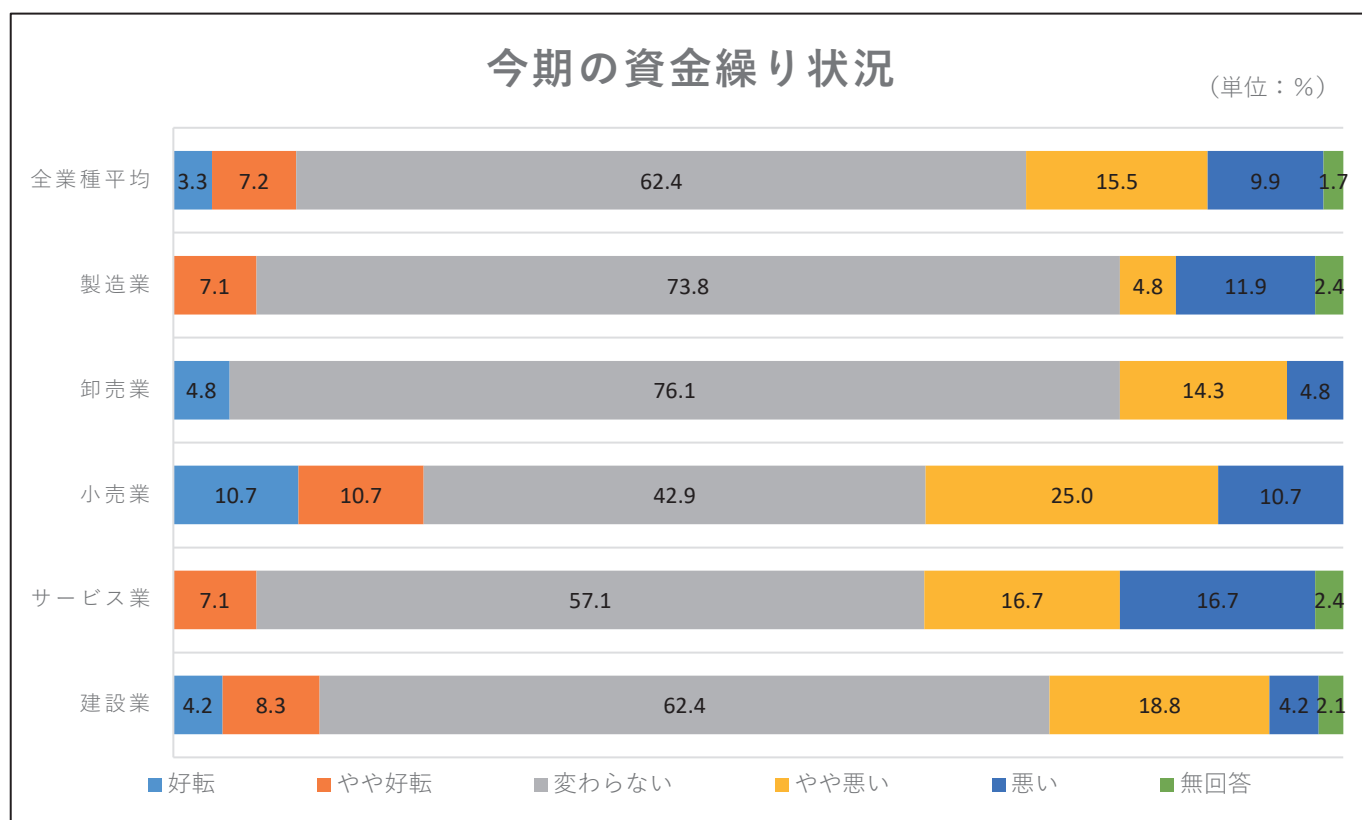
- ・ 今期DI値は△14.3となり、前回より4.3ポイント、前年同期より0.6ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△17.8となり、今期より3.5ポイント悪化。

### サービス業

- ・ 今期DI値は△26.3となり、前回より23.8ポイント、前年同期より15.9ポイント改善。
- ・ 来期DI値は△31.0となり、今期より4.7ポイント悪化。

### 建設業

- ・ 今期DI値は△10.5となり、前回より8.0ポイント、前年同期より2.0ポイント悪化。
- ・ 来期DI値は△8.4となり、今期より2.1ポイント改善。



## 6. 設備投資状況

### 全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は29.8%となり、前回より4.8%、前年同期より4.9%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は23.2%となり、今期より6.6%減少。

### 製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は38.1%となり、前回とほぼ同水準、前年同期より3.1%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は31.0%となり、今期より7.1%減少。

### 卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は33.3%となり、前回より11.6%、前年同期より20.3%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は23.8%となり、今期より9.5%減少。

### 小売業

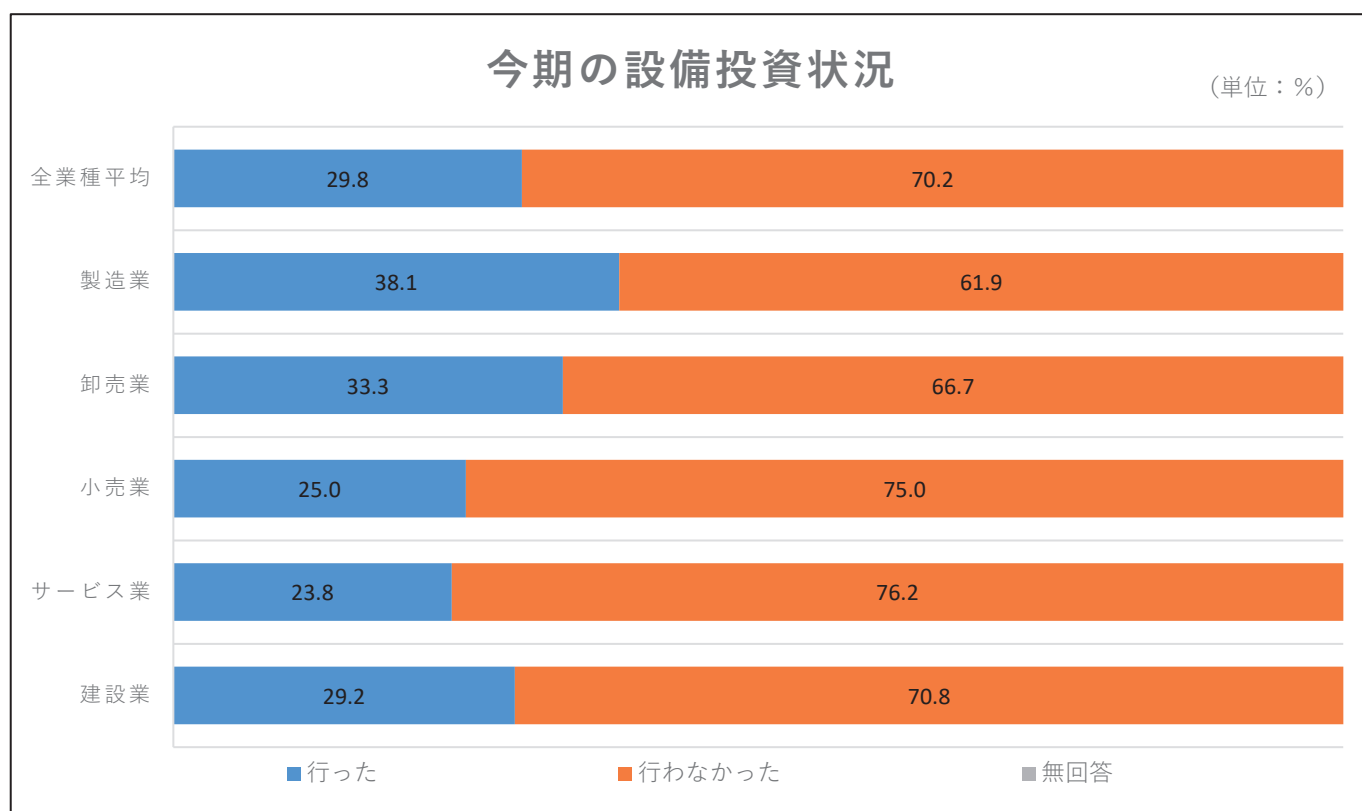
- ・今期に設備投資を行った割合は25.0%となり、前回より5.0%、前年同期より7.8%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は10.7%となり、今期より14.3%減少。

### サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は23.8%となり、前回・前年同期とほぼ同水準となった。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は21.4%となり、今期より2.4%減少。

### 建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は29.2%となり、前回より9.2%、前年同期より1.5%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は25.0%となり、今期より4.2%減少。



## 7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

### 全業種平均

- ・今期DI値は△41.3となり、前回より1.3ポイント不足感が増加、前年同期より2.1ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は25.4%となり、前回より1.2%減少。

### 製造業

- ・今期DI値は△35.1となり、前回より2.5ポイント、前年同期より11.9ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は23.8%となり、前回より7.8%減少。

### 卸売業

- ・今期DI値は△15.0となり、前回より1.4ポイント不足感が増加、前年同期より7.7ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は19.0%となり、前回より7.1%減少。

### 小売業

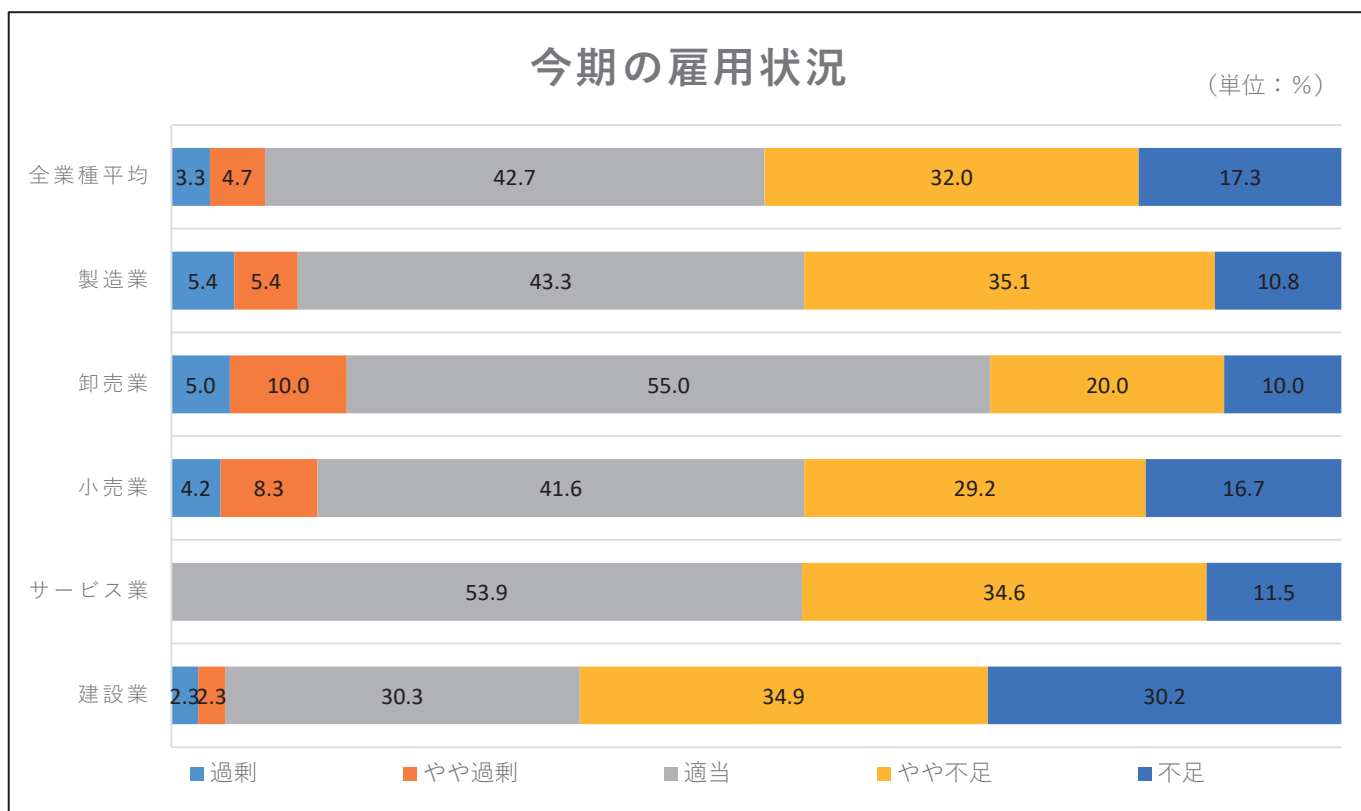
- ・今期DI値は△33.4となり、前回より5.4ポイント、前年同期より8.3ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は17.9%となり、前回より8.8%減少。

### サービス業

- ・今期DI値は△46.1となり、前回より4.9ポイント不足感が増加、前年同期より13.9ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は19.0%となり、前回より0.6%増加。

### 建設業

- ・今期DI値は△60.5となり、前回より7.2ポイント不足感が減少、前年同期より4.3ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は39.6%となり、前回より9.6%増加。



## 8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

### 全業種平均

- ・今期「受け入れている」企業の割合は1.1%となり、前回より3.1%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は5.0%となり、前回より3.2%増加。

### 製造業

- ・今期「受け入れている」企業の割合は2.4%となり、前回より5.5%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は4.8%となり、前回より2.2%増加。

### 卸売業

- ・今期「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は前回に引き続き無し。

### 小売業

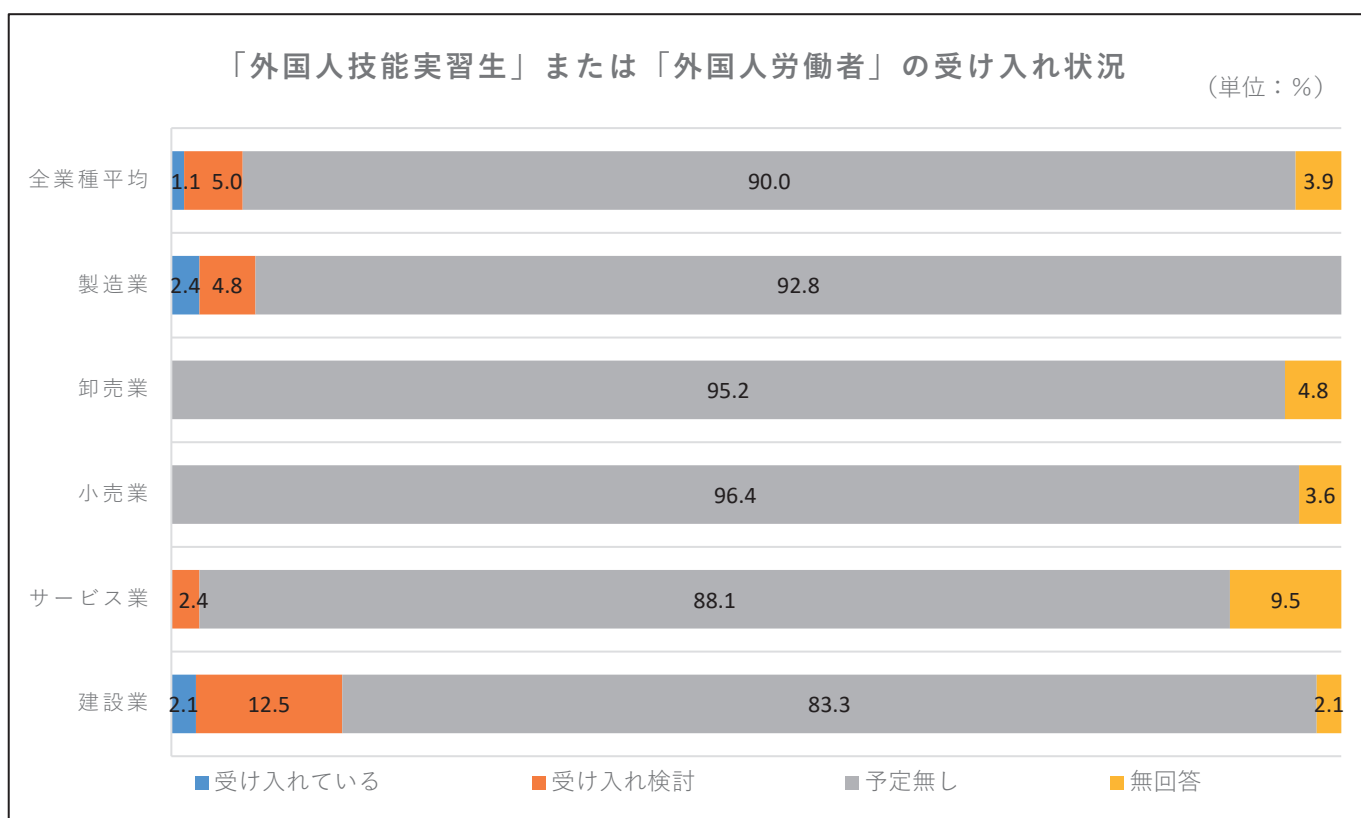
- ・今期「受け入れている」企業は無く、前回より3.4%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は前回に引き続き無し。

### サービス業

- ・今期「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は2.4%となり、前回より2.4%増加。

### 建設業

- ・今期「受け入れている」企業の割合は2.1%となり、前回より5.4%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業の割合は12.5%となり、前回より7.5%増加。

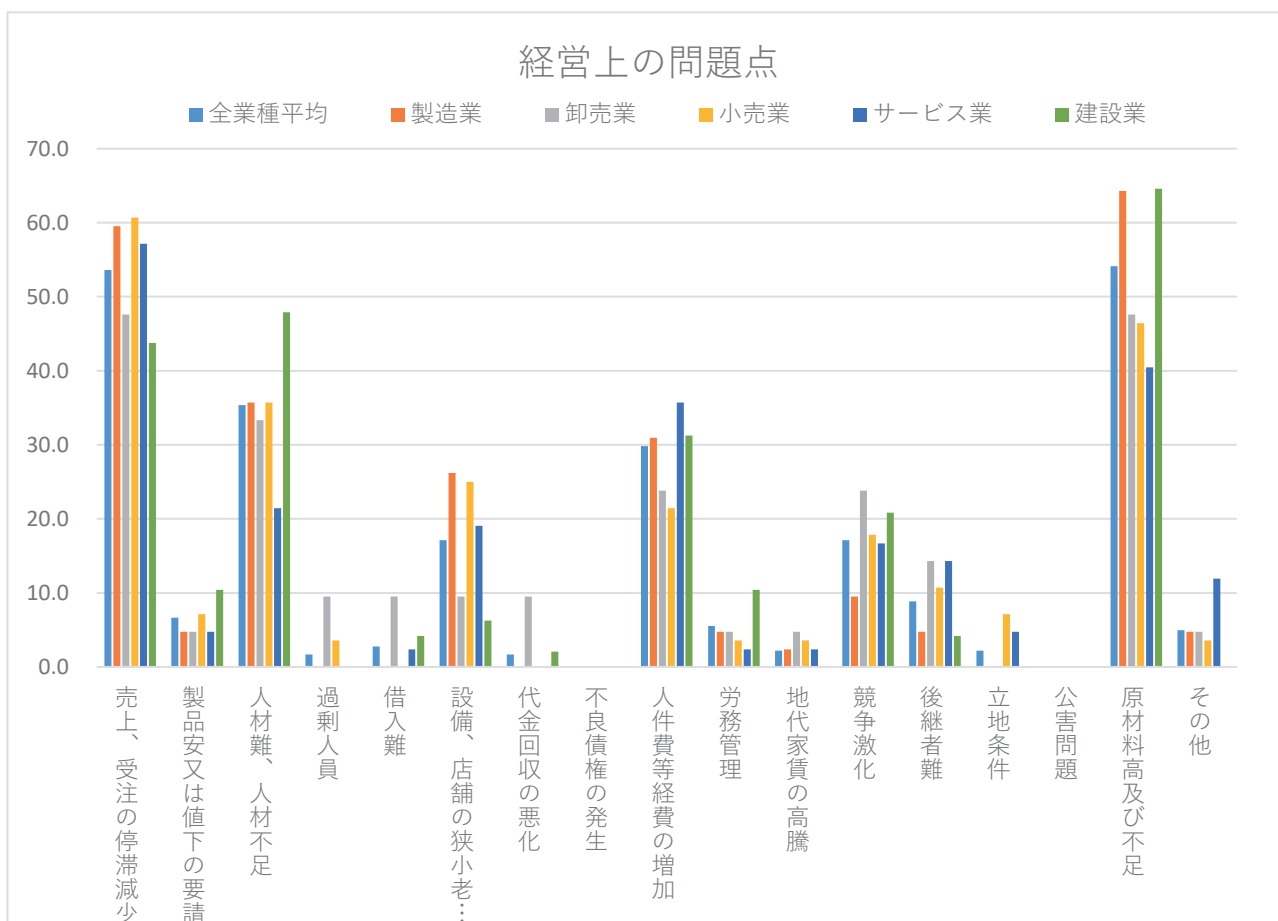


## 9. 経営上の問題点

- ・全業種平均では「原材料高及び不足」が54.1%と全体を通じて最も高く、次いで、「売上、受注の停滞減少」が53.6%、「人材難、人材不足」が35.4%と高い割合となっている。
  - ・「その他」の意見として、新型コロナウイルス感染症関連では「イベントが少なくなり、外出をしなくなった為、来店客数が減少している」といった声があった。
- それ以外では「電気、ガス、ガソリンなどの固定経費の増加（全業種）」「物流費の高騰（卸売業）」「物価高騰によるお客様の支出抑制、従業員教育の負担増加（サービス業）」といった問題に苦慮する声が聞かれた。

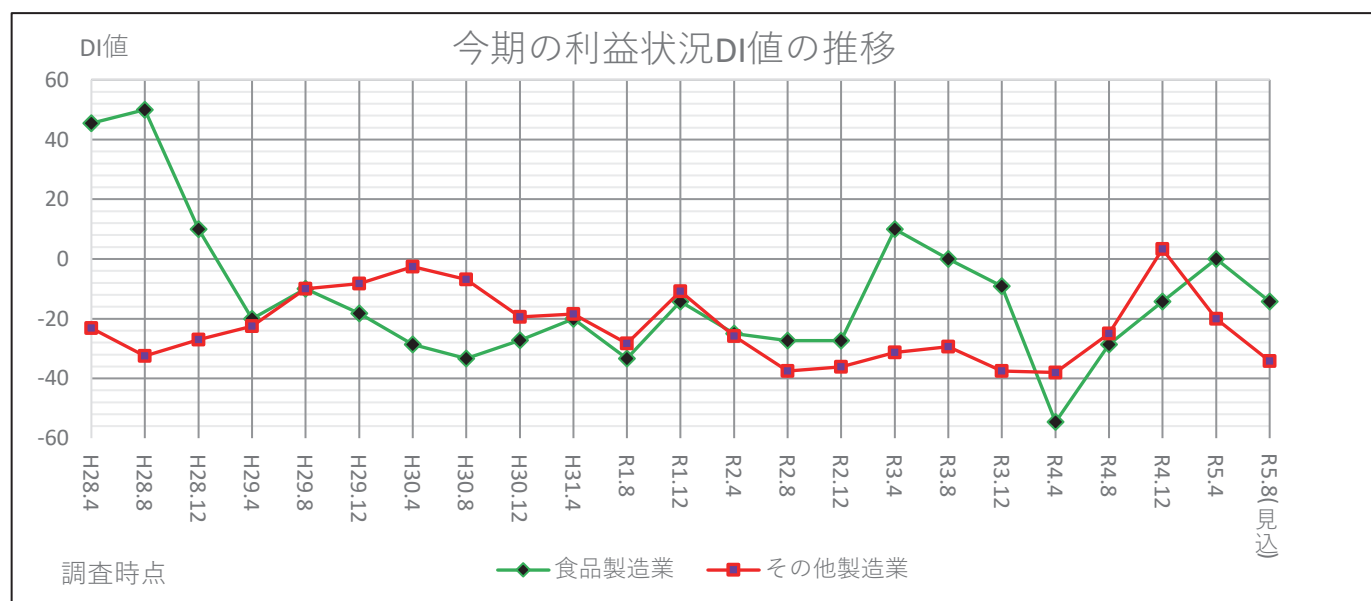
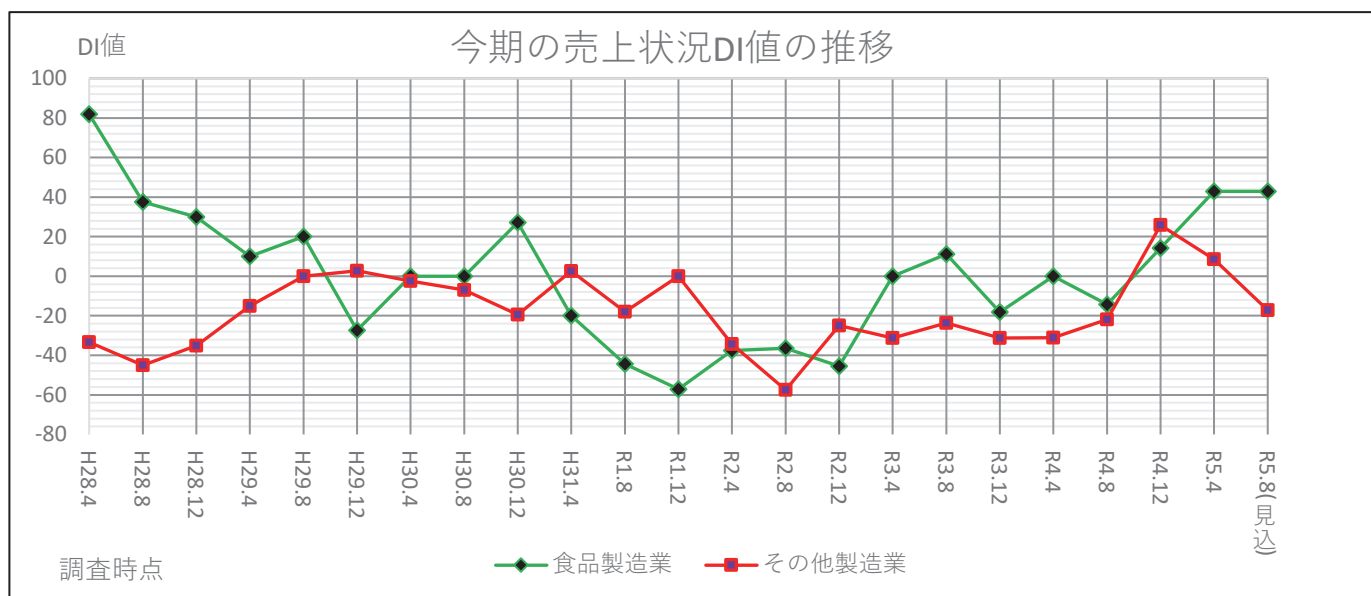
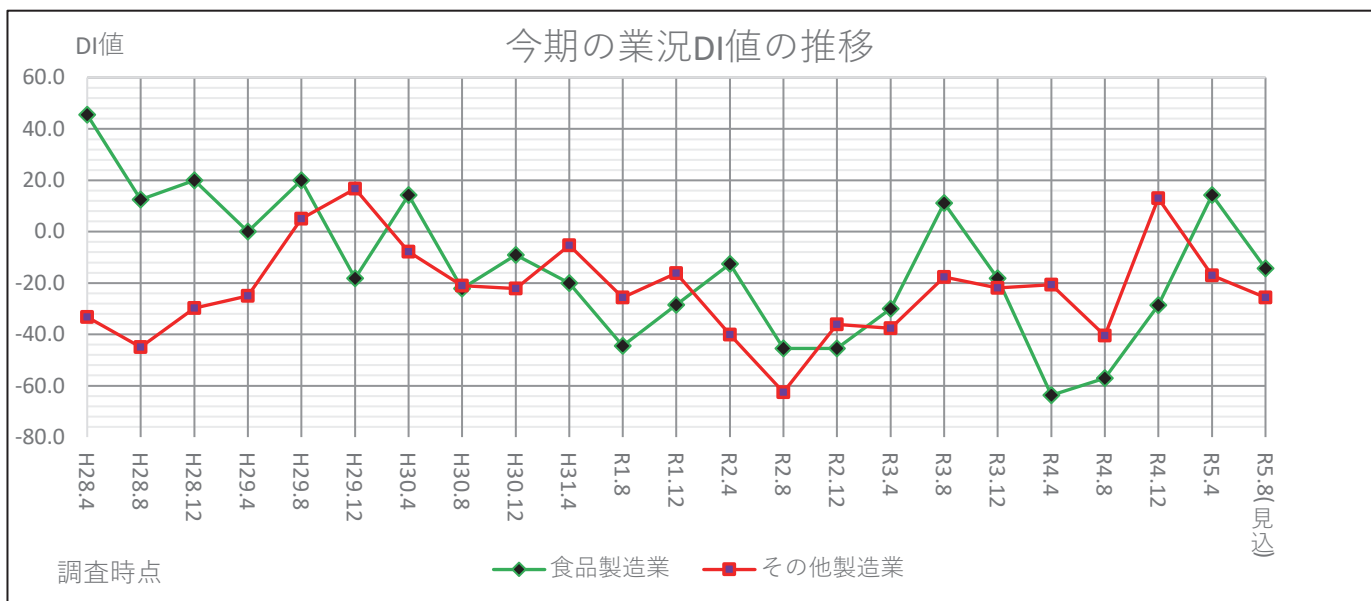
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	原材料高及び不足 64.3%	売上、受注の停滞減少 59.5%	人材難、人材不足 35.7%
卸売業	売上、受注の停滞減少 原材料高及び不足 47.6%	人材難、人材不足 33.3%	人件費等経費の増加 競争激化 23.8%
小売業	売上、受注の停滞減少 60.7%	原材料高及び不足 46.4%	人材難、人材不足 35.7%
サービス業	売上、受注の停滞減少 57.1%	原材料高及び不足 40.5%	人件費等経費の増加 35.7%
建設業	原材料高及び不足 64.6%	人材難、人材不足 47.9%	売上、受注の停滞減少 43.8%



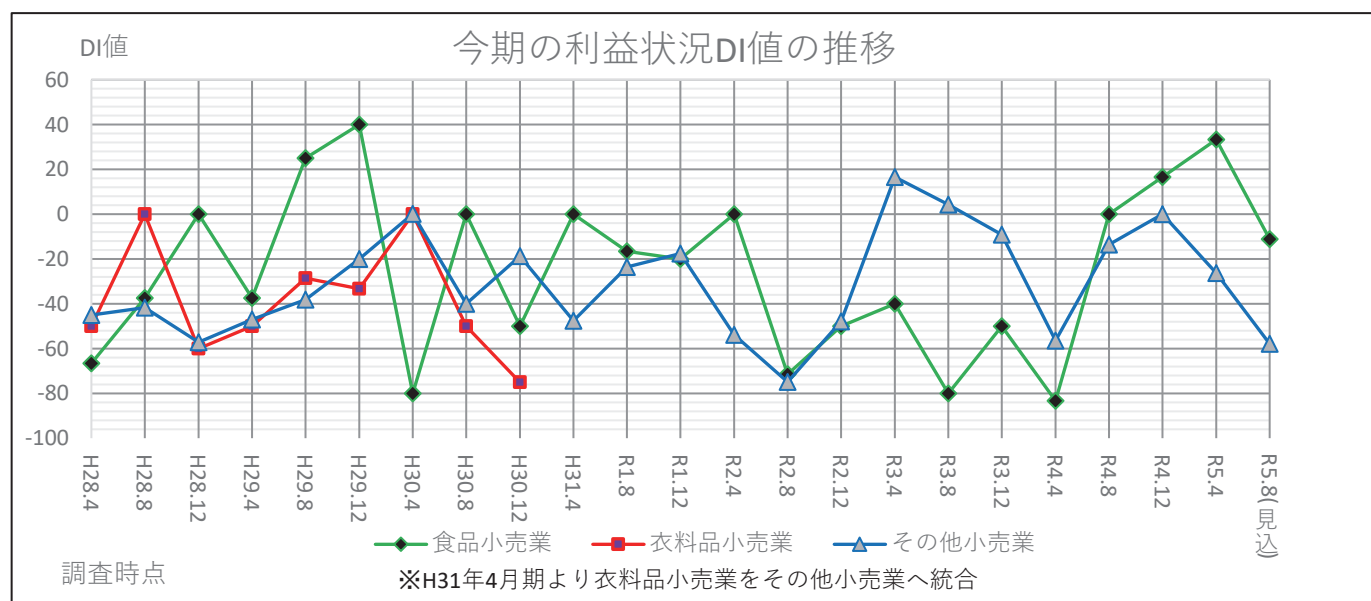
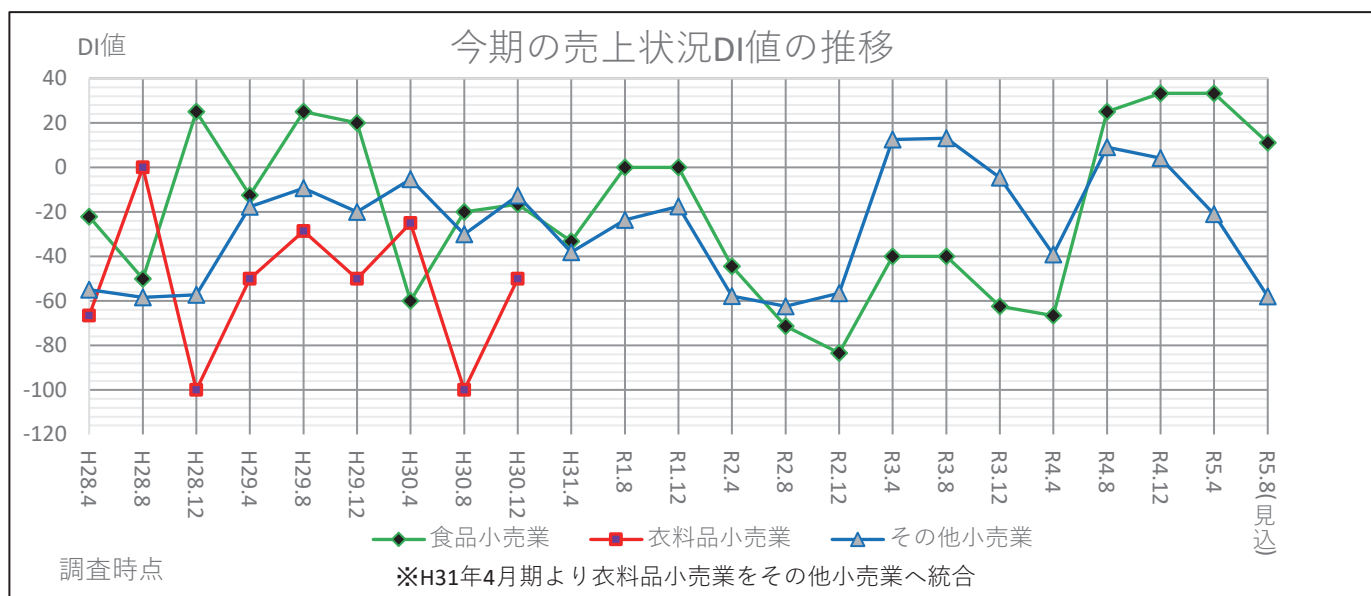
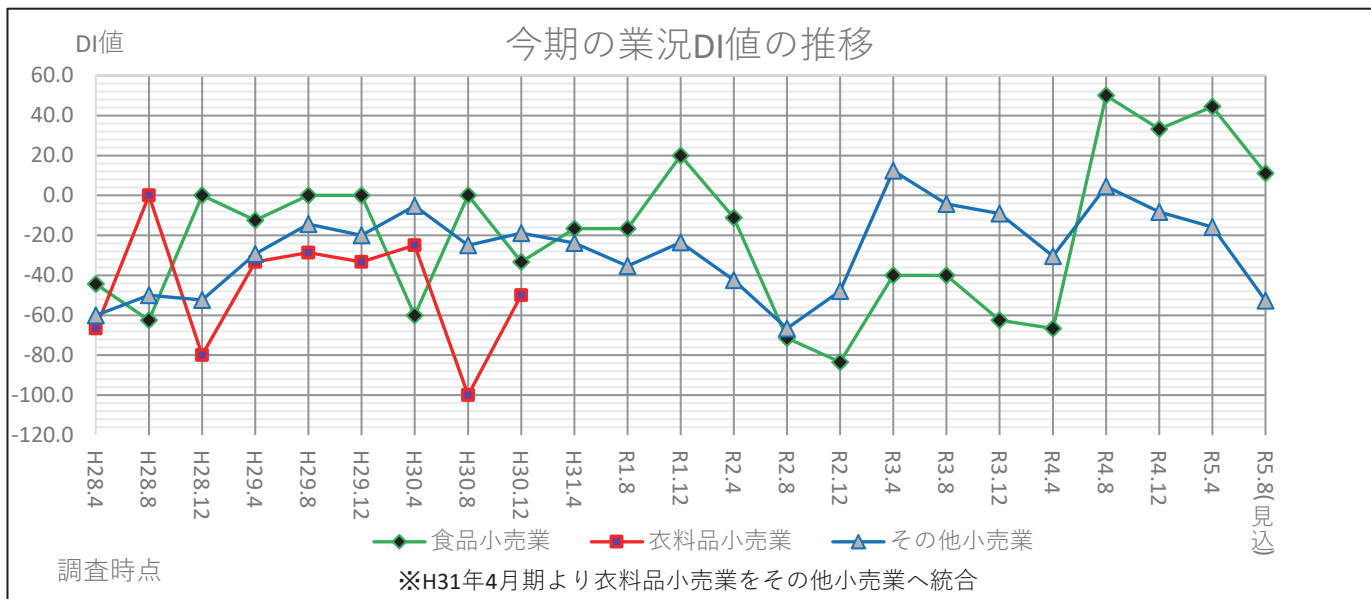
### Ⅲ 業種別参考資料

#### 1. 製造業

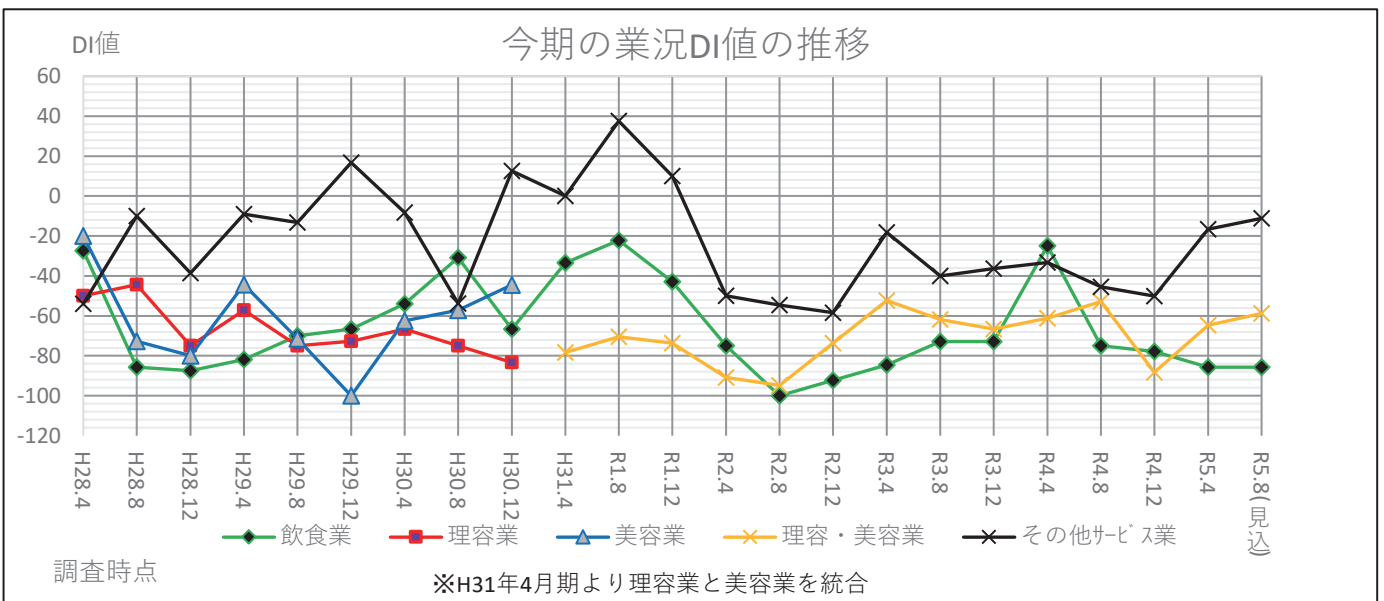
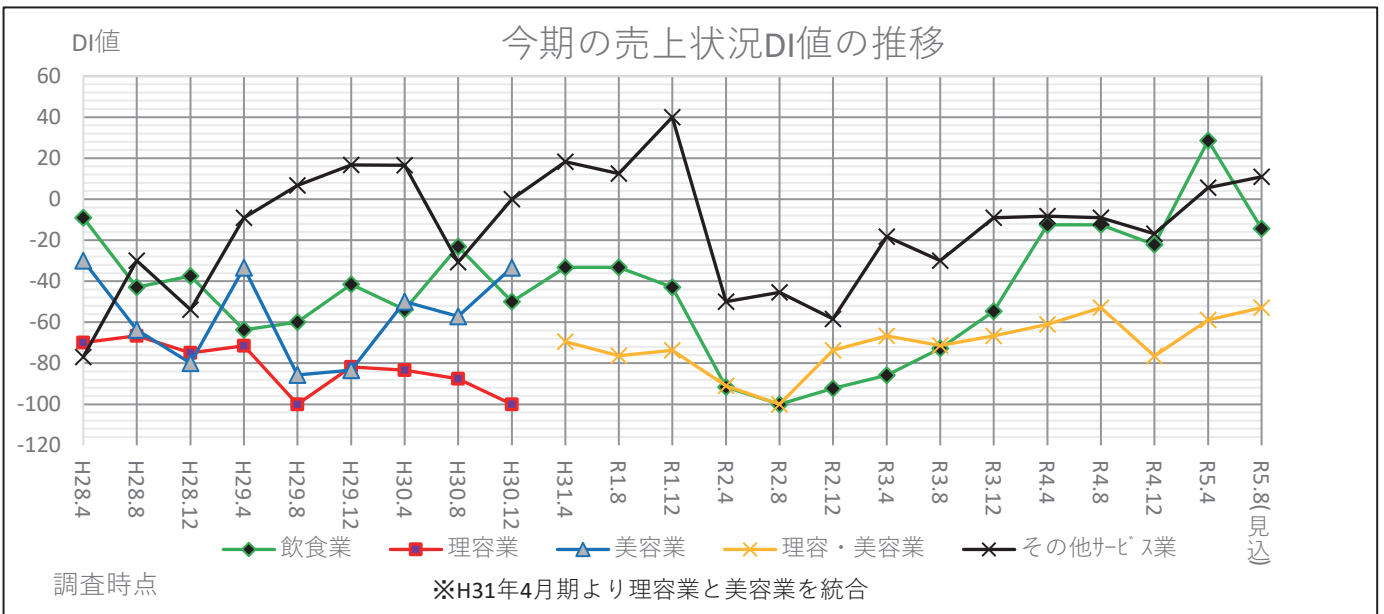
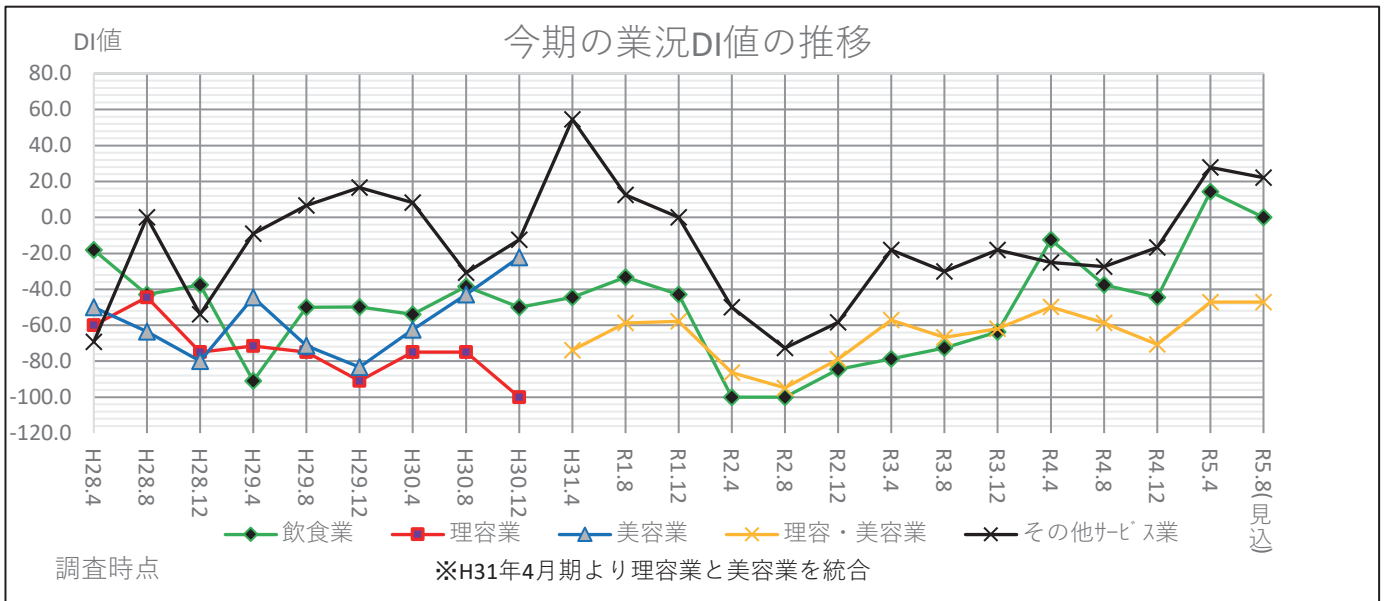




## 2. 小売業



### 3. サービス業



#### 4. 建設業

